

決 議

私たちがトラック運送事業者は、我が国の国民生活、産業活動を物流面で支えるとともに、本年四月に熊本地方で発生した地震においては、業界が一丸となって救援物資輸送にあたり、国民の皆様から高い評価をいただいた。

しかしながら、少子高齢化に伴う若年労働者不足が顕在化し、人材の確保が急務となる一方、多くの事業者が再生産可能な運賃収受ができず、厳しい事業経営を強いられている。

また、二年目を迎え全国に設置されている「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」ではパイロット事業がスタートし、手待ち時間の削減方策や附帯業務の有償化方策等具体的な成果が出るよう、トラック運送業界の総力を挙げて、取り組んでいかなければならない。

我々は、今後とも、交通事故防止や環境保全に率先して取り組み、社会との共生を図りながら、トラック運送業界の叡智と総力を結集して、これら当面する諸課題に勇気と英断をもって果敢に対応していかねばならない。

このため、本日、第二十一回全国トラック運送事業者大会にあたり、我々は、本大会の総意をもって、以下のとおり決議する。

- 一、取引環境の改善及び長時間労働の縮減を図ろう
- 一、高速道路料金における大口・多頻度割引最大50%の恒久化を実現しよう
- 一、参入基準の厳格化等規制緩和の見直しを促進しよう
- 一、原価管理に基づく適正運賃を収受しよう
- 一、交通・労災事故の防止及び環境・省エネ対策を積極的に推進しよう
- 一、準中型免許の導入に伴う高校新卒者等の人材確保を図ろう
- 一、自動車関係諸税の簡素化・軽減を実現しよう
- 一、適正化事業の推進による法令遵守を徹底しよう
- 一、大規模災害発生時における緊急輸送体制を確立しよう

右、決議する。

平成二十八年十月六日

第二十一回全国トラック運送事業者大会